

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 1月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	4	・グループ内で少人数に分けて活動の入れ替えをしている。	・職員と利用者の数を適正にする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17	8	・必要な場合は必要なだけ人員要請している。	・保育士と言語聴覚士の人員不足であり補充が必要。 ・STの予約がなかなか取れない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24	2	・バリアフリー化されている。	・小集団療育内で視覚支援やパーティションスペースの支援環境のさらなる工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	26			・トイレの便座が気になる方がいるので一回ずつ拭くなど改善すべき点。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	26			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	2	・職員全員で取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	3	・茶和会を開いて保護者の意見を聞く機会を設けている。	・保護者の意見を把握する機会が少ない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	2	・グループ内の反省会がある。	・個人の意見を把握してもらえる場はあまりない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	3	・外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	26		・施設内外（外部講師依頼）を定期的に開催し参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	24	2		・こども1人1人に合わせた内容かと感じる親さんが見えるので、訓練士も入り、専門性のある目でみてもらう必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	26		・沢山話を聞いていただいた中でチャレンジさせてもらっている。	・保護者のニーズが初期のままで、更新されていないので、聞き取りをしっかりとる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	26		・日々の子の姿を振り返りなどで情報共有している。	・全体で情報共有し作成をしている。 ・子どもの特性に合わせ、適正なプログラムを提案していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	26			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	4		・より事業内容に則したアセスメントシートを作成中。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	24	1	・児童発達支援計画は適切に作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	1	・チームで集まって行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	2	・固定化しないように工夫している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	26		・できている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	24	1	・チームで連携して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	26		・できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	1	・つなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	26		・できている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	26		・できている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	1	・できている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	1	・できている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	2	・引き継ぎ書を作成し、情報共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	23	2	・できている。（休所日に他事業所に行く）	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	21	4	・できている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	21	3	・できている。 (2市2町、子育て会議、私保連、園長会)	
	31	(31は、事業所のみ回答)			・できている。 (訓練士会、担当者会議など)	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	2	・できている。（交流保育、園外療育）	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	1	・できている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	1	・できている。（保護者研修会、茶和会）	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	26		・できている。（契約の際にサビ管説明）	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25		・できている。 (モニタリング、計画書会議)	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	26		・できている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	26		・できている。 ・保護者研修会を休日にしてほしい。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	2	・保護者同士はあるが、きょうだい同士の会はない。 ・夏冬の長期休みなど、きょうだい児と一緒に来所した場合、遊んだり、昼食をとったりする場を提供しているので交流にはつながっている。 ・不定期で自由登所日を設けている。きょうだいが一緒に来て施設を利用、遊ぶことが可能。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	26		・できていると思うが周知が不足している。	・今後も周知を続ける。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25		・できている。（おたより、献立はネットで流す） ・写真の扱いは、契約時に説明しているが、自分の子が写らないよう配慮してほしいとの事。→再度対応の仕方を検討していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	26		・廃棄の際にはシュレッダーをかける。個人情報書類はカギのかかる書架で管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25		・しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	4	・マルシェや記念行事など行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	25		・実施している。	・家族に対してマニュアルは渡していないので検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25		・避難訓練を行っている。	・新しいスタッフに対して、誘導旗や緊急バッグなど伝えていない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	26		・生活チェック票やまとめた票で状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	26		・食物アレルギー対応している。（宗教）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	1	・安全計画の書類は親には表示していない。	・年中の避難訓練の計画を掲示するのはどうか検討します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	2	・安全計画の書類は親には表示していない。	・年中の避難訓練の計画を掲示するのはどうか検討します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	26		・できている。又、朝礼で報告を必ず行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	26		・年一回外部講師の研修会を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	5	・個人情報後期作成中。記載は不十分。	・記載を検討します。